

Rotary International 2018-19 会長 バリー・ラシン [バハマ]	国際ロータリー第2670地区 ガバナー 桑原 征一 [新居浜RC]
テーマ ROTARY : BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう	丸亀東ロータリークラブ <第44年度> 会長 稲毛 謙二 幹事 氏家 正俊

平成30年10月16日(火)

2018~2019年度 第44年度 第14回 通算第2101回例会

【副会長報告】 ◆ なし

【幹事報告】

- ◆ 前々回、例会終了後、10月の理事会を行ないました。
 - ① 10月・11月・12月プログラムの件 ……承認
 - ② クリスマス家族会 企画・予算案の件(親睦活動委員会・原委員長) ……承認
 - ③ 理事;ロータリー財団委員長の件 ……承認
 - ④ 50周年積立金の件 ……承認

【プログラム】 ♥ 客話〔米山奨学生:ナント・マリナ・ズイン・ニエー・エー様〕

ミャンマー出身・香川大学医学系研究科修士2年

*カウンセラー:善通寺RC 橋本一仁様

皆さんこんにちは。最初に自己紹介をさせていただきます。
私はミャンマーから参りました、ナント・マリナ・ズイン・ニエー・エーと申します。
日本では「マリナ」と呼ばれています。私は5人家族です。両親と姉・妹、私の三姉妹で、私は真ん中です。
今は32歳で来年の1月に33歳になります。



マリナさん

私の故郷についてお話しします。

私の故郷はミャンマーのヤンゴンです。これまでヤンゴンはミャンマーの政治の中心地であるとともに経済の中心地でした。しかし、ミャンマー軍事政権は、2005年11月にネピドーへの首都機能移転を進め、2006年10月にはヤンゴンにかえて、ネピドーをミャンマーの首都としました。
現在のヤンゴンの人口は約410万人です。



カウンセラー:橋本様

ミャンマーについて、お話ししたいと思います。

ミャンマーには135の民族がいて、40を超える言語が存在しています。
母国で一番広く使われている言語はビルマ語です。ビルマ語を母語としない人々はそれぞれの民族の言葉を使って生活している訳です。しかし、違う民族出身の人同士で話すときや、公式の場ではビルマ語を使っています。教育現場でもビルマ語を使っています。少数民族出身の子どもたちはビルマ語で教育を受けています。私も少数民族出身です。私の民族はカランと言います。けれど、私はカラン語がまったくできません。なぜかという、両親は同じカラン民族ですけど、言語はそれぞれ違います。毎日の家の中での生活ではビルマ語だけを使います。なので、私はビルマ語だけしか話せず、他の言語を話すことはできません。

四つのテスト

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

言行はこれに照らしてから

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

日本に来るきっかけと日本での留学についてお話ししたいと思います。

私はクリスチャンですが、キリスト教の活動から人の役に立つことをしたいという思いがあって、以前から社会福祉にたいへん興味がありました。中でも高齢者に対するサポートや、いろいろな理由で落ち込んでいる人たちのアフターケアなどを、将来は支援していきたいと考えていました。

ですから大学でも社会福祉に関して詳しく学びたいと考えていました。

しかし、ミャンマーには当時、社会福祉に関して学べる大学の学部がありませんでした。そこで社会福祉を海外で勉強しようと思い、日本の大学を選択しました。それは、日本はアジアでも工業が発展しており、文化的にも深みがある国であったからです。そして日本人は親切で目上の人に対して尊敬することや、時間を大切にする習慣があると聞いていて、社会福祉に関してもよりよい学びができると思ったからです。

そこで、私は日本の社会福祉について、より深く学びたいと考えて、まず、ミャンマーで基礎的な日本語の学習をしました。そのあと、2009年に来日し、京都民際日本語学校で、再び日本語を学習しました。2011年には京都ノートルダム女子大学社会福祉学科に入学し、2015年にはそこを卒業しました。卒業後は、すぐにミャンマーに帰国しました。帰国後は、直接社会福祉に関する仕事には就けず日本企業での通訳などをしていました。しかし、どうしても最初の夢である社会福祉に関わりたいという思いがあったので、再来日しました。

2016年には香川大学の研究生になり、日本の看護・介護・社会福祉について、基本的な事柄を学習しました。そして、2017年度より、同大学院医学系研究科修士課程に入学し今年度の4月から、医学系研究科看護学修士課程の2年生になりました。

現在は「介護技能実習生に関する役割認識 —ミャンマーでの日本語を学ぶ人たちから—」というテーマで研究に取り組んでいます。

これから、日本とミャンマーの社会福祉についてお話ししたいと思います。

皆様もご存知の通り日本は、世界の少子超高齢化社会を迎えています。このような日本を支える社会福祉・社会保障制度は長い歴史をもっています。日本は毎年のように国民が日常生活や社会的ニーズが大きく変化をしています。

ミャンマーでも新政権発足後、少子化の速度は過去の日本のそれより早く、また、高齢化に関しても問題になってきています。

私の母国であるミャンマーでは、高齢化率が年上昇傾向にあり、いずれ日本の高齢化率を追い越すと予想されています。しかし、ミャンマーでも、年金などの幾つかの国家レベルでの社会保障政策を講じていますが、給付対象年齢は今でも90歳以上です。

また、すべての国民が対象ではありません。どの施策においても普遍的で永続的とはいえない現状があります。そこで、世界の少子超高齢化社会である日本において、ミャンマーの人々が介護福祉を学び、その技術を祖国に持ち帰り、今後のミャンマーにおける高齢化に向けて活かすことが求められると思います。

最後に私の研究のこと・留学の生活・将来のことについてお話ししたいと思います。

日本では今、海外から来た多くの介護福祉士候補者が介護について学んでいます。

現在は、インドネシア、フィリピン、ベトナムの3つの国が対象となっています。

しかし、現実には外国人介護福祉士候補者に関するさまざまな問題が起こっています。例えば、言語・異文化・コミュニケーションの問題や介護士としての就労で、自国で学んだ知識・技術が十分評価されず、活かすことができないと感じたり、自国で学んだことが日本では役に立たないと自信を失ってしまうことなどです。このような問題から、EPA3ヵ国からの介護福祉士の定着が思うようには進んでいないのです。短期間で祖国に戻るという状況がおきています。

四つのテスト

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

言行はこれに照らしてから

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

ミャンマーの人材はまだ日本において介護福祉士候補者として学ぶには至っていませんが、今回改正された技能実習法によって新たな対象国に加わったミャンマーは、今後採用される可能性がおおいにあります。 将来ミャンマーの介護技能実習生が日本に派遣された時、同じ問題を繰り返さないように、日本の介護技能実習生を希望して学ぶ学生が、なぜ介護技能実習生になろうとするか、介護技能実習の役割をどのように認識しているのかを明らかにするのが私の研究の目的でもあります。 これにより、学生の認識を知り、ミャンマーでの準備としてミャンマー介護技能実習生に対する教育支援の基礎的資料を作りたいと考えています。

このような私の研究では、ミャンマーで日本語を学ぶ学生たちにインタビューし調査する予定だったので、研究のため帰国する時の費用が必要でした。また、日本での生活費や修士論文のために必要な研究費などについても悩んでいました。そんな時、香川大学の指導の先生から米山記念奨学金の情報をいただいて、すぐに申し込みをしました。

その結果、今年度の4月から米山奨学金を受けられる事になりました。

米山奨学生となれたお陰で、今は、日本での生活費や研究費のことについて心配もなくなり、日々、研究に集中して頑張っています。日常生活の中で金銭的に困ることが少なくなり、毎日を穏やかに過ごせることができていると思っています。

米山奨学金をいただけることを本当に感謝しております。

私は、善通寺ロータリークラブの例会に、月一回参加させて頂いています。

例会に出席した時は、いつもクラブの皆さまが温かい気持ちで声をかけてくださって嬉しいです。

10月は、善通寺ロータリークラブのほか、丸亀東ロータリークラブ、丸亀ロータリークラブ、そして11月には坂出ロータリークラブでも、卓話をさせて頂くことになっています。

今後とも、いろいろなロータリークラブの例会や活動にも参加させて頂きながら、ロータリークラブの考え方や活動などを体験したいと願っています。

また、大学院では勉強も頑張っ、修士論文の完成に向かって研究に集中して、良い研究成果を残して行きたいと考えています。

これからもお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

【本日のニコニコ】

♣♣♣ マリナさんの卓話を聞いていただいて : 善通寺RC:橋本一仁様

- ♣ 橋本教授、米山奨学生・マリナさんをお迎えして :秋山 佳弘 米山奨学委員長
- ♣ 米山奨学生・マリナさんと橋本教授をお迎えして :伊賀 重夫 副会長
- ♣ 米山奨学生・マリナさんと橋本教授をお迎えして :氏家 正俊 幹事
- ♣ 米山奨学生・マリナさんと橋本教授をお迎えして :小宮山 滋 S・A・A
- ♣ 米山奨学生・マリナさんと橋本教授をお迎えして :神原 太一 会計
- ♣ 米山奨学生・マリナさんと橋本教授をお迎えして :岡 千枝 さん
- ♣ 職場例会[高松地方・家庭裁判所丸亀支部]を無事終えて :入江 英樹 職業奉仕委員長
- ♣ 妻の誕生日にお花を頂きました :山下 孝志 さん
- ♣ 山北八幡神社の例大祭を無事終えて :秋山 光宗 さん
- ♣ 写真同好会の方々に病院外来ギャラリーに素晴らしい写真を展示していただいて
患者さんの評判もよくて、「先生が撮ったんですか」と言われてしまいます。
:西紋 孝一 さん<Big>

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

【来訪ロータリアン】 (1名)

① 橋本 一仁 氏 (善通寺 RC)

【メイクアップ】 (なし)

【出席報告】

第2101回例会

<10月16日(火)現在>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
40名	3名	37名	22名	15名	59.46%

第2099回例会

<10月2日(火)例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
40名	3名	37名	24名	13名	64.86%

【10月23日(火)の例会】 創立44周年記念夜間例会 & 新入会員歓迎会

【食楽遊房 吉風 丸亀店 午後7時~】

【10月30日(火)の例会】 地区大会報告(会長・幹事)

《地区大会の日程》

10月27日(土) 大会第1日目

(13:00~17:00) 本会議

新居浜市市民文化センター

(18:30~20:30) 懇親会

リーガロイヤルホテル新居浜

10月28日(日) 大会第2日目

(9:30~13:30) 本会議

新居浜市市民文化センター

【11月 6日(火)の例会】 会員卓話(ロータリー情報委員会)辰巳正兼委員長

<ロータリーの目的>

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記：「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということ、RI 理事会の意見が一致している。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

例会場

オークラホテル丸亀 ☎23-2222

〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50

事務所 オークラホテル丸亀430号室

TEL : 0877-21-6611 FAX : 0877-21-6655

例会日 毎週火曜日 PM12:30~PM1:30

URL : <http://www.marugame-east-rc.com>

E-Mail : merc@soleil.ocn.ne.jp